



平成 30 年度

大学院看護福祉学研究科 FD セミナー

## 「公衆衛生学の歴史および疫学的視点」

国民の健康を国として公式に取り上げたのは、たぶん 18 世紀のイギリスと考えられている。この時期にロンドンで流行したコレラについて、ジョン・スノウが疫学的に飲料水を原因であると証明した。これはコレラ菌が原因という物質的証拠の発見の 30 年も前である。我が国では憲法第 25 条に「公衆衛生」という語が登場する。公衆衛生学の技法の一つが疫学である。疫学による発見物語をいくつか紹介し、今後の方向性を示す。

みやけ ひろつぐ

講師：三宅 浩次先生

札幌医科大学名誉教授

元北海道産業保健総合支援センター所長

元本学看護福祉学部教授

日時：平成 30 年 6 月 9 日（土）10 時～12 時

場所：札幌サテライトキャンパス 講義室 A・B

＜参加申し込み不要＞

大学院生の皆様の参加をお待ちしております！

お問い合わせ先：大学院 FD 委員 木浪 智佳子 きなみ ちかこ kinami@hoku-iryu-u.ac.jp